

なでしこフリーランキング

FREE RANKING

順位	登番	選手名	総合P	
1	4208 静岡	三浦 永理	97.3	↑
2	4590 福岡	渡邊 優美	88.0	↑
3	3618 広島	海野ゆかり	84.8	↗
4	4123 愛知	細川 裕子	83.1	↑
5	3845 兵庫	中谷 朋子	82.3	↘
6	4502 滋賀	遠藤 エミ	82.0	↘
7	4050 岡山	田口 節子	81.9	↑
8	4927 大阪	関野 文	80.6	↑
9	3611 徳島	岩崎 芳美	79.6	↑
10	3232 香川	山川美由紀	79.4	↑

相次ぐ大物選手のフライング 三浦永理の1着率は50%超え



三浦永理



渡邊優美

7月の女子レースは、桐生ヴェイナスシリーズで福岡泉水、浜名湖V.Sで三浦永理、戸田V.Sで清埜翔子、桐生オールレディースで渡邊優美が優勝した。

※ランキングは最近2か月の勝率、2連対率、ST、優出、優勝などから独自の計算法でポイント(100が最高点)を算出し決定している。

最近好調選手 ※最近2か月と最近半年を比べたもの

順位	登番	選手名	総合P	+P
1	5174	川井 萌	71.5	17.7
2	4965	福岡 泉水	60.4	15.9
3	4014	片岡 恵里	69.7	14.6
4	5189	藤原 早菜	65.4	14.1
5	5079	大石 真央	59.4	12.9
6	3845	中谷 朋子	82.3	12.5
7	4765	野田部宏子	66.0	11.7
8	4764	小池 礼乃	68.4	11.5
9	4373	若狭奈美子	70.3	10.2
10	4845	前田 紗希	78.0	10.1

近況2位の福岡泉水は、6月末の桐生で初優出初優勝を達成した。行き足から伸びが良かったこともあって、日を追うごとにスタートの攻めが果敢になり、優勝戦では会心の05を決めた。これで自信がついたか直後の浜名湖でもトップスタートを連発。そして最終日にF…。自らオチをつけてしまったことはいただけないが、7月末の唐津混合戦で2度目の優出。まだまだ勢いは止まらない!

今後の女子戦スケジュール

8~9月	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
	福岡レディースチャンピオン	徳山ヴェイナスシリーズ				浜名湖オールレディース				平和島オールレディース				常滑ヴェイナスシリーズ				大村オールレディース																

本稿締切時点で福岡レディースチャンピオンの結果はわからないが、女子の山場へ向けて地元の渡邊がリズムアップに成功したと思いきや、直前の大村オーシャンカップで痛恨のフライング。予選突破がかかる勝負駆けのイン戦だったが、重い足かせがついてしまった。このほかにも海野ゆかりや細川裕子など、大一番を前にFを切った。

その一方で絶対調モードに突入しているのが三浦。7月の浜名湖まで6節連続優出し3優勝。この間の1着率が50%を超えており、リズムは最高潮。期別の勝率でも8点を超え、2位以下を大きく引き離す独走状態になっている。

11位~20位

順位	選手名	総合P
11	前田 紗希	78.0
11	喜井つかさ	78.0
13	浜田亜理沙	76.7
14	大瀧明日香	76.6
15	深川麻奈美	76.0
16	金田 幸子	75.6
17	魚谷 香織	74.9
18	寺田 千恵	72.7
19	實森 美祐	72.5
20	川野 芽唯	72.3

年間ランキング

順位	選手名	総合P
1	三浦 永理	96.7
2	竹井 奈美	88.1
3	田口 節子	91.2
4	守屋 美穂	91.0
5	浜田亜理沙	88.2
6	渡邊 優美	87.1
7	平山 智加	90.0
8	細川 裕子	88.9
9	遠藤 エミ	83.8
10	西橋 奈未	80.6